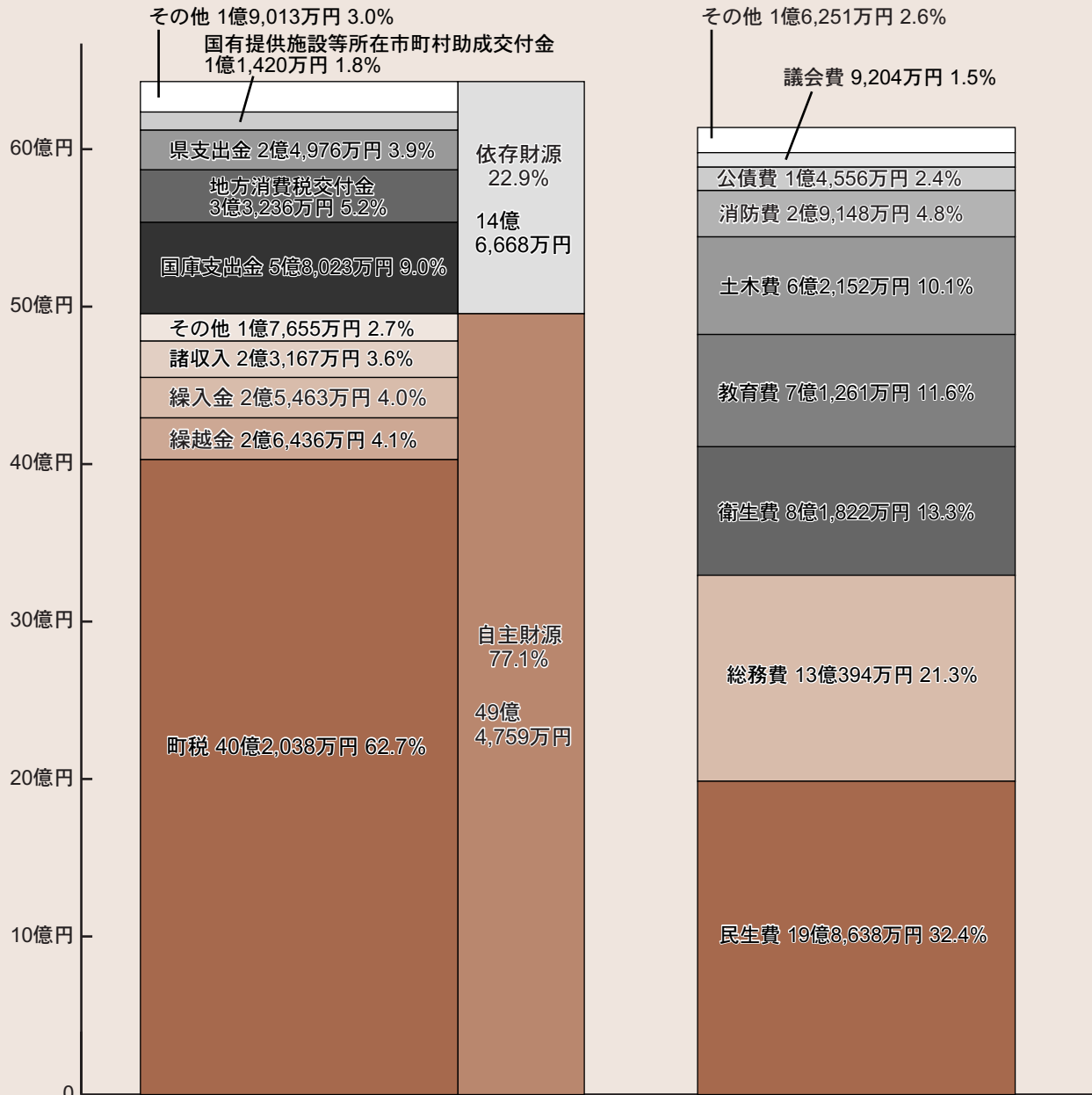


# 歳入

64億1,427万円

# 歳出

61億3,426万円



自主財源：町税など町が自主的に収入できるお金  
 依存財源：国庫支出金など国や県によって金額が決められたり、割り当てられたお金

▶問合せ 総務課企画財政・情報係  
 ☎28・0913

## 平成二十八年豊山町一般・特別会計歳入歳出決算審査意見書(抜粋)

豊山町監査委員 大野眞一  
 豊山町監査委員 大口司郎

一般会計及び特別会計の決算総額は、歳入九十八億四千七百二十五万九千九百九十九円、歳出九十三億八千二百七十六万八千四百三十三円、歳入歳出差引額四億二千七百七十四万四千六百六十六円、翌年度へ繰り越すべき財源千六百三十四万六千円を差し引いた実質収支額は、四億千三百三十五万八千六百六十六円を計上した。

一般会計において対前年度比でみると歳入では、自主財源の柱である町税収入において、個人町民税が三千百三十二万二千九百三十五円、法人町民税が千九百九十八万六千九百九十二円、固定資産税は三億七千七百八十八万四千二百一十一円の増額となった。全体で額にして、四億四千五百九十三万二千五百八十九円増額となり前年度より十二・五%の増となった。

歳出は主に総務費の二億七千三百八十九万七千八百八十八円、衛生費の一億六千三百三十二万四千四百六十円が増額した。また、減少したのは教育費の△一億六百二十九万三千七百八十八円を始め、議会費、農林水産業費、商工費、土木費が減額となったが、全体では三億千四百七十七万七千八百六十六円増額となった。

収入の未済額については、負担の公平性、財源確保の観点から、効果的かつ効率的な徴収対策を実施するなど、収入未済額の解消に一層努力を望む。

将来のまちづくりに向け第四次総合計画後期基本計画のキラリと輝くまちづくりの重点施策の取り組みとあわせ、人口減少と地域経済縮小の克服に向けた「豊山町人口ビジョンまち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進し、本町を飛躍へと導くべく事業を着実に遂行し、より一層、住民が望むまちに向け努力されることを期待し、決算審査の意見とする。

▼問合せ 監査委員事務局(議事事務局) ☎28・6004

- 特集
- 町政あんない
- 情報コーナー
- まなびすと
- キラリ健康ナビ
- わいわいプラザ